

富士見中学校・西陵中学校 統合準備委員会だより

平成30年3月発行 第1号
富士見中学校・西陵中学校統合準備委員会

平成29年4月7日、茂原市教育委員会は西陵中学校区および富士見中学校区の学校選択制を終了する判断をしました。今後、西陵中学校は原則として平成29年4月1日に入学した生徒の卒業（平成32年3月31日）をもって閉校とし、平成32年4月1日に富士見中学校に統合します。

この決定を受け、「富士見中学校・西陵中学校統合準備委員会」を設置し、統合を円滑に行うための準備を進めていくことになりました。この「統合準備委員会だより」は、統合に向けた取組状況を保護者や地域の皆様にお知らせするために発行するものです。

統合準備委員会では・・・

平成32年4月の統合に向けて、子供達により良い教育環境を整えていくことを目指して、教育内容の充実、通学路の安全確保、統合前の交流活動の推進、PTA活動の見直し等について協議していきます。

統合準備委員紹介

統合準備委員会は、統合対象校の校長、教頭、教務主任で構成されます。

役職	氏名	所属等
委員長	御園正二	富士見中学校校長
副委員長	狩野直樹	西陵中学校校長
委員	増田千治	富士見中学校教頭
委員	佐藤洋光	西陵中学校教頭
委員	佐藤千秋	富士見中学校教務主任
委員	山中浩一	西陵中学校教務主任

今後、PTAによる通学路の安全対策やPTA組織編成についての協議を計画しています。

これまでの取り組み

第1回統合準備委員会（11月21日）

・準備委員会委員の役職を決定し、円滑な統合へ向けてのどのように進めたら良いか協議しました。

・30年度新入生について、緑ヶ丘小学校5・6年生保護者と合意形成を図った制服、体操服、自転車、副教材、防寒着、卒業アルバム等について確認しました。

第2回統合準備委員会（1月24日）

・学校生活に関することは基本的に富士見中と同様となることを確認しました。また、来年度以降の授業の進め方等について、両校の全教員参加の拡大準備委員会を開催して協議することにしました。

拡大統合準備委員会（2月7日）

・各教科で使用する副教材について、両校の全教員で話し合い、同じ教材を用いること、また、校外学習を協働で行うことを確認しました。

学校紹介

茂原市立富士見中学校（生徒数413名）

昭和30年 開校

校訓 友愛 誠実 創造

学校教育目標

未来を志向し、心豊かで創造的な知性とたくましさをもった生徒の育成

茂原市押日1468 TEL 23-7145



茂原市立西陵中学校（生徒数64名）

平成5年 開校

校訓 自律 創造 友愛

学校教育目標

心豊かで、自ら学び、たくましく生きる生徒の育成

茂原市緑ヶ丘1-53 TEL 22-8011



各統合準備委員会の協議内容〈抜粋〉

第1回 統合準備委員会（平成29年11月21日（火）於、富士見中学校）

緑ヶ丘小学校6年生、5年生の保護者と合意形成をはかった点について確認しました。

- ①制服・体操服・上履き・ジャージ
 - ・西陵中在学時には、原則、富士見中学校のものを購入し、使用する。
- ②通学用自転車
 - ・自転車で通学する場合は、富士見中学校の規定とする。
- ③副教材
 - ・3年間使用する教材等は、両校で統一する。
- ④通学時の防寒着
 - ・西陵中学校在学時に購入する場合は、富士見中学校の規定に合わせる。
- ⑤卒業アルバム
 - ・富士見中学校に合わせ、検討していく。
- ⑥統合時の学級編制
 - ・3年進級時は学級編制をしないので基本的には各学級に分かれて入級する。
- ⑦その他
 - ・通学路については、危険箇所の洗い出しを行い、改善の要望をしていく。

第2回 統合準備委員会（平成30年1月24日（水）於、富士見中学校）

- ①新1年生の教材ワークについて
 - ・富士見中学校に原則合わせる。各校の教科担任同士で話し合いの場を設け決定する。
- ②授業の進め方について
 - ・教科担任同士で話し合いの場を設け、できるだけ歩調を合わせる。
- ③通学路の設定、安全確認、危険箇所
 - ・市教委、富士見中安全主任中心に調査する。その結果を基にPTAを含めて協議する。
- ④PTA役員及び組織
 - ・今後の課題。
- ⑤統合までの生徒間の交流
 - ・新1年生から、校外学習等で交流する機会を設定する。

拡大統合準備委員会（平成30年2月7日（水）於、富士見中学校）

- ①3年間使う教材の協議
 - ・両校で構成する教科部会毎に話し合っ選定する。
- ②移行期の年間指導計画作成の分担及び選択分野等の話し合い
 - ・授業の進め方を確認していく。
- ③新1年生の校外学習について
 - ・協働の場面を設定する。